

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ねお重心多機能型施設入野		公表日 令和7年 7月 31日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	0	・活動に応じてレイアウトなどを工夫して対応している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	0	・定員6名に対して、基本的に、基準として4名配置+加配2名なので、適切である。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0	・毎日、使用したシーツやタオルは洗濯し、床の消毒、使用食器類はハイター消毒、使用したおもちゃ、机、オムツ交換台、洗面台、トイレをアルコール消毒している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	5	・和室を利用することができる。 ・個別の部屋はないが、パーテーション等を利用し、工夫している。利用者に合わせて過ごす場所を考えたり、お散歩や外出など計画したりしている。	・和室を除いて、オムツ交換台やトイレしか、完全な個室はない。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9	0	・年度ごとに法人目標、事業所目標を設定し、毎日の振り返りや毎月のミーティングで実施している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	・1年に一度、アンケートを実施し、事業所の課題の把握と原因の分析、改善に向けての必要な取り組み工夫を考え、結果を公表している。	・昨年度までは、WAMネット上で公表、今年度からねおらいふ株式会社のHP上で公表。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	・ミーティングを毎月実施し業務改善に繋げている。	・事業所内では意見交換ができるが、職員が直接、法人の代表と話をする機会がない。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	4		・第三者評価は実施できていない。 ・法人内の療育長や各事業所の管理者による相互評価の強化で対応したい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	・毎月、従業員個人でジョブメドレーのオンライン研修を受講している。 ・浜松市の放課後等デイサービス連絡会、児童発達支援連絡会主催の研修に管理者や主任が参加し、その外部研修の共有を研修として位置づけている。 ・法人独自の委員会、虐待防止・身体拘束禁止の委員会、感染対策委員会、安全推進委員会を定期開催し、各事業所においても研修・訓練を実施している。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0	・毎月のお便りやInstagram、HPで公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9	0	・児発管が必要な手順に沿って実施している。契約時のアセスメント、モニタリング時のアセスメントを実施している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	・モニタリング後に、モニタリングの内容とサービス等利用計画、個別支援計画原案を基に、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討をし、個別支援計画を作成している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0	・個別支援計画における5領域の観点を視点とした主な本人支援及び家族支援について祝印鑑で共有し、支援記録を残し、夕方のミーティングで支援について振り返りを実施している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	0	・連絡ノートや日々の支援記録、専門職による中間評価などで確認している。	

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0	・個別支援計画に左記の4つのねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0	・保育士を中心としたチームで、お便り作成時に毎月の活動内容を、また前日までに当日のプログラムについて話し合っている。時期に合った製作をしようと工夫している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	・季節の行事等を取り入れ楽しめるように工夫している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	・学校がお休みの日には、朝の会を実施したり、紙芝居やペープサート、外出などをみんなで実施している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	・共有している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	0	・当日ご利用者の様子を共有し、職員一人一人が気付いたことや気を付けていくところなど意見を出し合い、支援の検証と改善について話し合っている。	・振り返り時は、パートさんがいない時もあるので、翌日以降に伝えるようにしている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	・ご利用者一人一人について事業所内で、支援記録、実績記録、医療的ケア実施記録、リハビリの記録をしている。モニタリングの中間に、各専門職（看護師・保育士/児童指導員/児発管・機能訓練士）による評価も実施している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0	・計画的に実施できている。評価⇒モニタリング⇒原案作成⇒計画会議⇒計画発行⇒保護者のサイン入り計画書を相談支援事業所に送付	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0	・管理者兼児発管か、主任が参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	0	・嘱託医は、岡山内科の医師で、毎月1～2回事業所訪問をして頂いている。けが等の場合は、岡山内科に通院し、受診ができる体制になっている。 ・医療福祉との連携や学校との連携等体制を整えている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	0	9		・園との並行利用をしている児童は該当なし ・学校卒業後の生活介護利用の際の情報共有は実施していない。今後検討。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	0	・就学時の移行の際には、浜松市の教育委員会や西部特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	8	1	・友愛の里診療所の青嶋先生 (PT)による実技研修会を年間4回、当事業所で受けている。また、こちらから訪問し実技を見学させていただいている。合わせて、児童発達支援センターひまわりの見学を実施した。		

	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	5	・同法人の放課後等デイサービスと各施設で行う夏祭りで交流している。	・保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会がないので、検討していきたい。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	・お迎え時にその日の様子を伝えたり、お家での様子を聞いたりしている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	7		・研修を実施できていないので、今後の実施に向けて検討していきたい。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0	・見学時や契約時に、説明をさせていただいている。	・時間の都合上、簡潔になってしまう場合もある。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	・利用時のアセスメントやモニタリング時、または送迎時などにご家族の意向を聞いている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9	0	・個別支援計画の作成の手順に沿って必要な手続きを踏み、計画書の同意を得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	・送迎時に相談に応じたりしている。	・今年度よりモニタリング実施後等に相談内容に応じて児発管や専門職が相談に応じる体制を作りました。(家族支援加算Ⅰ)ぜひ、ご利用ください。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	8	・保護者がお迎え時に保護者同士が自然発生的にお話をしたりすることはある。	・夏祭りや予防接種の場では交流は可能だが、保護者会や兄弟同士のための会は設けていないので、検討していきたい。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	0	・毎月のおたよりの発行、Instagramで日々の活動を紹介、HPも一新して活動概要等を発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	7	・事業所にバイオリン演奏者を招いて音楽鑑賞会を実施した。地域の方から、お雛様をいただいた。	・地域のイベントに参加している。音楽会やしめ縄づくりなど。もっと地域住民を招待する企画を考えていきたい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0	・必要なマニュアルを作成し、訓練を実施している。安全計画については、年度当初に各家庭に知らせている。	
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0	・法人で計画作成。定期的に必要回数を実施している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0	・毎日の体調確認、服薬確認をWチェックで行っている。医療的ケア指示書でてんかん発作等の対応等を確認している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0	・食物アレルギーの確認も看護師を中心に確認している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0	・これまでも各事業所で取り組んできたが、今年度より安全推進委員会を法人で立ち上げ、毎月委員会を開催、関連する研修や訓練、点検等を毎月実施している。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0	・4月に安全年間計画をご家庭に周知した。	・説明は行っているが、しっかり周知できているかは不安なので、もっと発信していきたい。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	・報告用紙に記入し、事業所内で共有し対策を講じている。また、毎月の法人の会議で報告をしている。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	・2か月に一度、法人内で虐待防止・身体拘束の禁止に関して委員会を開催。各事業所でも、訓練・研修を実施している。		

53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9	0	・契約時に、説明をさせていただき、同意書を頂いている。	
----	--	---	---	-----------------------------	--